



学校だより

令和4年9月1日

9月号

岩国市立岩国小学校

心のものさし

校長 清 寿光

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。一人ひとりの笑顔に、長い夏休みを満喫したことが表れていました。無事に夏休みを終えることができたのも、保護者や地域の皆様に温かく見守っていただいたお陰です。ありがとうございました。この2学期、青年期へと歩み続ける子どもたちが、様々な場面で自分の成長を実感できる実りの時期にしたいと考えています。子どもたちが成長を実感し将来への夢や希望を抱くには、周囲の理解や受け止めが欠かせません。子どもたちの良さをフィードバックしてくれる人や、その良さの測り方（見極め方）が大切になってきます。「ひとつのものさし」では、そのものさしで測れるものしか測れません。ですから、子どもたちに接する時には、できるだけ「たくさんものさし」を持って、励まし自信を持たせたいと考えています。この「たくさんものさし」の参考に詩を紹介します。それは、アメリカの教育学者、ドロシー・ロー・ノルトが作った「子は親の鏡」という詩です。その中に次のような言葉が出てきますので、子育ての参考にいただければと思います。

「子は親の鏡」

作：ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨（うらや）んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

職員の異動について（お知らせ）

平素から本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
7月25日より産育休に入りました 相原 裕貴 教諭の後任として、原 紘貴（はらげんき）教諭が8月30日に着任しました。主に6年生の理科を担当しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

